【東京消防庁管内】

令和７年第１四半期（１月から３月まで）の火災状況について（簡易版）

★　火災件数は１，４５２件でした（前年同期より２３５件増加）。

★　火災による死者（自殺行為による死者を除く）は３２人（前年同期より４人増加）で、そのうち65 歳以上の高齢者は２４人でした。

★　火災による負傷者は２４６人（前年同期より４人増加）で、そのうち６５歳以上の高齢者は８１人（前年より７人増加）でした。

★　主な出火原因の上位３位は、「放火(疑い含む)」が２５０件と最も多く、次いで「たばこ」が２１１件、「ガステーブル等」が１１２件でした。

★　電気設備機器の火災は５１８件発生し、前年同期の４５４件より６４件増加しており、最近５年間では最も多いです。

★　リチウムイオン電池関連の火災は６５件発生し、前年同期の３７件より２８件増加しており、最近５年間では最も多いです。

★　リチウムイオン電池関連火災を製品用途別にみると、モバイルバッテリから出火した火災が２３件となっており、全体の３割以上を占めます。